



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月15日

上場会社名 株式会社 成学社
 コード番号 2179 URL <https://www.kaisei-group.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤田 正人

TEL 06-6373-1595

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,541	8.9	22	95.3	17	96.1	77	
2020年3月期第3四半期	9,374	3.2	469	22.9	449	50.4	220	61.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 82百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 216百万円 (61.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	13.99	
2020年3月期第3四半期	39.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,465	2,546	26.9
2020年3月期	8,778	2,661	30.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,546百万円 2020年3月期 2,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		5.50		3.00	8.50
2021年3月期		3.00			
2021年3月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,360	7.0	295		291		347		62.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	5,876,000 株	2020年3月期	5,876,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	324,060 株	2020年3月期	322,560 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	5,552,737 株	2020年3月期3Q	5,525,740 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、事業ドメイン「乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業」の下、主力の学習塾ブランドである「個別指導学院フリーステップ」に加え、クラス指導の学習塾「開成教育セミナー」、認可保育所「かいせい保育園」、外国人留学生を対象とした「開成アカデミー日本語学校」等を運営し、幅広い教育および保育ニーズに応え、事業展開を行っております。

このような状況の下、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,541,002千円（前年同期比8.9%減）、営業利益は22,005千円（前年同期比95.3%減）、経常利益は17,534千円（前年同期比96.1%減）となりました。また、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上し、法人税等調整額（益）62,673千円を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は77,709千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益220,390千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①教育関連事業

例年ピークを迎える11月時点のグループ生総数（直営教室に限る）は24,492人（前年同月比6.0%減）となり、部門別では、個別指導部門16,611人（同5.9%減）、クラス指導部門6,975人（前年同月比7.7%減）、保育部門699人（前年同月比8.0%増）、その他の指導部門207人（同5.1%増）となりました。

学習塾部門（個別指導部門、クラス指導部門）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による期初塾生数の厳しいスタートの影響が続き、売上高は減少いたしました。しかしながら、塾生数は5月以降回復傾向にあり、個別指導部門は塾生1人当たりの単価の上昇、クラス指導部門は各種オプション授業の開催等により、売上高は徐々に持ち直しております。その他の指導部門は、「開成アカデミー日本語学校」の今年度入学予定の留学生の多くが、新型コロナウイルス感染症の影響による制限に伴い入国できない状況が続いたこと、研修施設利用の需要が落ち込んだこと等により、売上高は減少いたしました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による合宿およびイベント等の中止、塾生数減少による教材等の仕入の減少、広告宣伝費の減少等により、費用は前年同期から減少いたしました。

この結果、セグメント売上高は8,465,493千円（前年同期比8.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は62,608千円（前年同期比87.5%減）となりました。

②不動産賃貸事業

所有不動産の余剰スペース（賃貸スペース）およびテナントの入居状況に大きな変動はなく、売上高は31,070千円（前年同期比10.0%増）となり、セグメント利益（営業利益）は27,434千円（前年同期比6.9%増）となりました。

③飲食事業

Go To Eatキャンペーン等の効果により売上高は一時的に回復傾向にあったものの、キャンペーンの中止以降予約キャンセル等が増加し、ランチ、ディナーともに厳しい状況が続いております。この結果、売上高は44,438千円（前年同期比46.9%減）となり、セグメント損失（営業損失）は25,865千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）13,022千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から686,918千円(7.8%)増加し、9,465,466千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から732,540千円(22.9%)増加し、3,937,425千円となりました。これは主として営業未収入金が前連結会計年度に比べ940,492千円増加し、現金及び預金が前連結会計年度に比べ201,840千円減少したことによります。固定資産は、前連結会計年度末から45,622千円(0.8%)減少し、5,528,041千円となりました。これは主として投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が前連結会計年度に比べ62,414千円、無形固定資産が同31,394千円増加し、有形固定資産が前連結会計年度に比べ135,229千円減少したことによります。

負債は、前連結会計年度末から802,530千円(13.1%)増加し、6,919,259千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から920,538千円(27.4%)増加し、4,283,518千円となりました。これは主として前受金が前連結会計年度に比べ399,874千円、短期借入金が同370,000千円、1年内返済予定の長期借入金が同285,519千円、未払法人税等が同72,263千円増加し、買掛金が前連結会計年度に比べ124,631千円、賞与引当金が同100,451千円減少したことによります。固定負債は、前連結会計年度末から118,007千円(4.3%)減少し、2,635,741千円となりました。これは主として長期借入金が前連結会計年度に比べ96,339千円、資産除去債務が同12,230千円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末から115,611千円(4.3%)減少し、2,546,207千円となりました。これは主として利益剰余金が前連結会計年度に比べ111,026千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(2020年9月18日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,654,845	1,453,005
営業未収入金	1,065,003	2,005,496
商品	90,810	49,598
仕掛品	4,877	5,153
貯蔵品	15,729	19,927
その他	390,993	416,110
貸倒引当金	△17,376	△11,866
流動資産合計	3,204,884	3,937,425
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,268,487	4,313,577
減価償却累計額	△1,529,669	△1,659,055
建物及び構築物 (純額)	2,738,817	2,654,522
土地	1,107,259	1,107,259
その他	1,077,972	1,065,260
減価償却累計額	△781,814	△820,036
その他 (純額)	296,158	245,223
有形固定資産合計	4,142,234	4,007,005
無形固定資産		
のれん	23,869	24,196
その他	138,983	170,051
無形固定資産合計	162,852	194,247
投資その他の資産		
差入保証金	948,413	954,873
その他	320,163	371,915
投資その他の資産合計	1,268,576	1,326,789
固定資産合計	5,573,664	5,528,041
資産合計	8,778,548	9,465,466

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,326	89,694
短期借入金	530,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	625,122	910,641
未払法人税等	90,160	162,424
前受金	752,607	1,152,482
賞与引当金	134,680	34,228
その他	1,016,081	1,034,047
流動負債合計	3,362,980	4,283,518
固定負債		
長期借入金	2,166,077	2,069,737
退職給付に係る負債	5,752	5,592
資産除去債務	469,764	457,533
その他	112,154	102,877
固定負債合計	2,753,749	2,635,741
負債合計	6,116,729	6,919,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	235,108	235,108
資本剰余金	178,349	178,349
利益剰余金	2,517,418	2,406,392
自己株式	△265,655	△265,655
株主資本合計	2,665,221	2,554,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,324	2,687
為替換算調整勘定	△5,725	△10,674
その他の包括利益累計額合計	△3,401	△7,987
純資産合計	2,661,819	2,546,207
負債純資産合計	8,778,548	9,465,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	9,374,419	8,541,002
売上原価	7,481,669	7,195,796
売上総利益	1,892,750	1,345,205
販売費及び一般管理費	1,423,381	1,323,200
営業利益	469,369	22,005
営業外収益		
受取利息	608	533
受取配当金	720	749
違約金収入	-	6,250
その他	8,489	13,265
営業外収益合計	9,818	20,799
営業外費用		
支払利息	22,543	20,239
その他	7,019	5,031
営業外費用合計	29,563	25,270
経常利益	449,623	17,534
特別利益		
事業譲渡益	-	3,818
特別利益合計	-	3,818
特別損失		
減損損失	18,825	27,806
特別損失合計	18,825	27,806
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	430,798	△6,454
法人税、住民税及び事業税	208,669	133,928
法人税等調整額	1,738	△62,673
法人税等合計	210,408	71,254
四半期純利益又は四半期純損失(△)	220,390	△77,709
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	220,390	△77,709

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	220,390	△77,709
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,833	363
為替換算調整勘定	△7,158	△4,948
その他の包括利益合計	△4,325	△4,585
四半期包括利益	216,065	△82,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	216,065	△82,294
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	9,262,534	28,249	83,635	9,374,419	—	9,374,419
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20,905	—	20,905	△20,905	—
計	9,262,534	49,154	83,635	9,395,325	△20,905	9,374,419
セグメント利益又は 損失(△)	501,299	25,658	△13,022	513,934	△44,565	469,369

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△44,565千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において18,825千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	8,465,493	31,070	44,438	8,541,002	—	8,541,002
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20,851	—	20,851	△20,851	—
計	8,465,493	51,921	44,438	8,561,853	△20,851	8,541,002
セグメント利益又は 損失(△)	62,608	27,434	△25,865	64,177	△42,172	22,005

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△42,172千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「教育関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において27,806千円であります。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う今後の影響や収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。